

中区地域福祉保健計画

関内地区

目指すまちの姿

「こんにちは」「コンニチハ」
笑顔が繋がるまち・関内



- 相生町
- 大田町
- 尾上町
- 海岸通
- 北仲通
- 新港1丁目
- 新港2丁目
- 住吉町
- 常盤町
- 日本大通
- 弁天通
- 本町
- 真砂町
- 港町
- 南仲通
- 元浜町
- 横浜公園



関内地区イベントカレンダー
平安堂薬局などに置いてあります

関内地区の取組目標

1: 高齢者、子どもと子どもの保護者、障害のある方、外国人など様々な人とのつながりを作る取組をしていきます。

- 人が集まるきっかけ作りとなっている「関内地区イベントカレンダー」の取組を続けていきます。
- 年代を超えて知り合うことができる「おしゃべりサロン」の取組を続けていきます。また、何気ない悩みなどを気軽に話せる場が増えるように取り組みます。

2: 企業、団体、学校や地域で活動している様々な人がつながって、交流する取組を行っていきます。

- もちつき大会は、小・中学生も企画・運営に参加しています。子どもから大人まで地域の人が集まるイベントとして続けていきます。
- 子どもから大人まで集まる場所となるよう、地域食堂に取り組みます。
- 地域で活動している人同士が、知り合う機会を作っています。
- 企業等と連携して「まちのクリーンアップ大作戦」を続けていきます。
- 夏休み子どもラジオ体操やeスポーツを、体を動かしつつ多世代交流ができる健康づくりの取組として続けていきます。

3: 若い人も高齢者もみんなが自分の健康について考え、時には一緒に健康づくりに取り組んでいきます。

- 北仲第2公園ラジオ体操のような定期的に開催する健康づくりの取組を続けていきます。
- 脳と体の健康づくりの活動である「いきいきルンルン」を続けていきます。
- 保健活動推進員が中心となって毎月1回ノルディックウォークに取り組みます。
- 食を通して健康を考えると共に人とのつながりができるような居場所づくりをしていきます。
- 健康を目的としていない集まりでも健康ミニ講座を実施し、全ての世代の人が健康を考えるきっかけを作ります。

4: 1~3のつながりも活かして災害が発生してもすべての人が協力できるように、「防災会議」をはじめ、様々な防災の取組を進めます。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

- 店舗や事業者も対象に加えた「防災会議」を開始し、現状把握のためのアンケート実施等、具体的に進めています。
- 関内地区の清掃活動「まちのクリーンアップ大作戦」は、だいぶ地域に根付いてきました。朝からみんな楽しみながら取り組んでいます。
- 「おしゃべりサロン」をコロナ禍でも検温、消毒等を行い継続し、10年(計100回)を超えて開催しました。
- 「関内地区イベントカレンダー」を配布することで、関内地区で行われている様々な取組をお伝えし、人が集まるきっかけ作りを行いました。



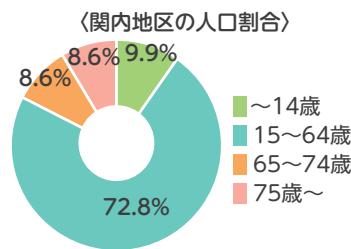
関内地区はこんなまち!

横浜開港以来からの歴史のある街並みのある地域です。官公庁街や飲食店街、オフィスが多く、近年マンションが建築され、住民も増えてきています。山坂は少なく、昔ながらの建物も多く、観光スポットもたくさんある地区です。

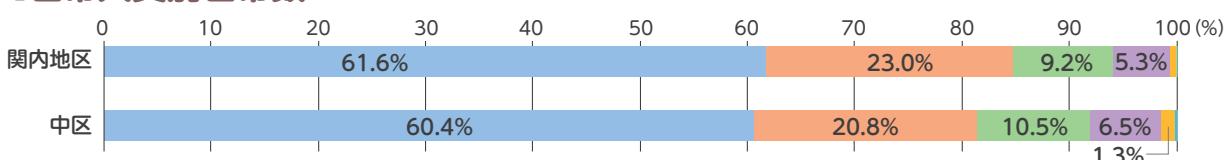
関内地区の統計データ

人口

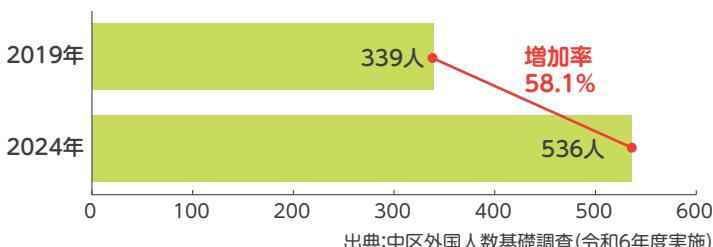
	合計	~14歳	15~64歳	65~74歳	75歳~
関内地区	7,421人	737人	5,405人	640人	639人
	100.0%	9.9%	72.8%	8.6%	8.6%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



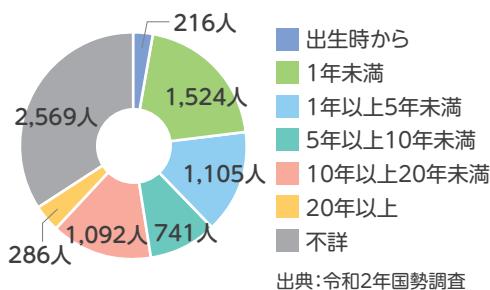
世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



住民の居住年数



人口、世帯数とも年々増加しており、平成30年に比べ約1.5倍となっています。15~64歳の人口割合が約7割を占め、65歳以上の割合は約17%と区内では一番少ない地区です。世帯構成をみると、6割が単身世帯で4人以上の世帯は約6%です。

住民の居住年数では出生時から住んでいる割合は少なく、他地域から流入してきた住民がほとんどであることがわかります。住民の多くはマンション、集合住宅に居住しており、今後も新たな集合住宅の建設により、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。地区内の外国人数についても増加傾向がみられ、現在その割合は1割を超えています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

地区社協や民生委員、主任児童委員、保健活動推進員などで構成する「関内地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度、話し合いながらつくりました。

